

地域の未来につなぐ、みんなの声

米沢市議会だより

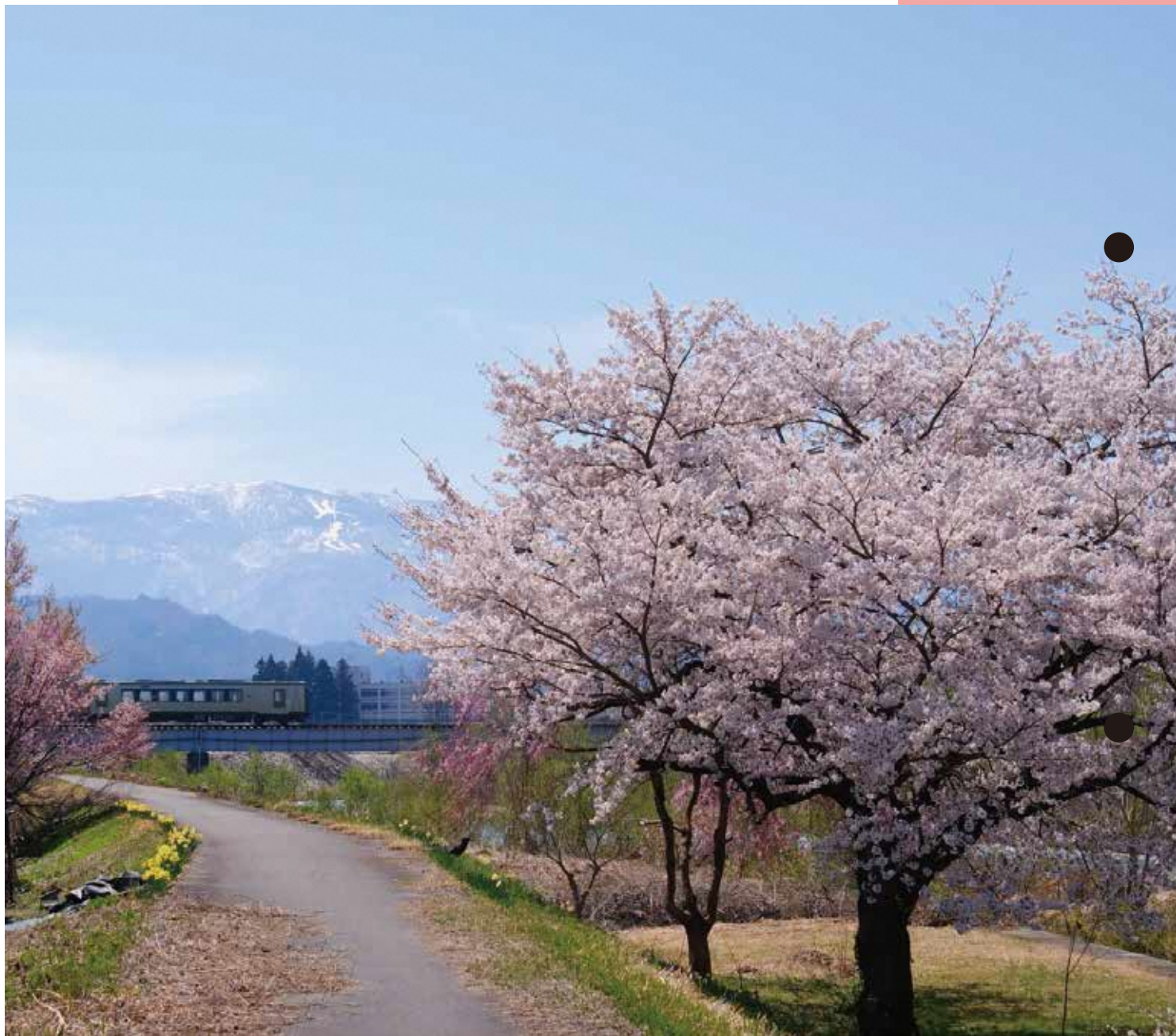
YONEZAWA CITY COUNCIL



Vol.186

令和8年5月1日

3月定例会



本号のトピック

令和7年度 第10回中学校出前市議会
～中学生の熱き思い！私たちのまちの未来！～
代表質問と一般質問の熱き議論
きもの議会で艶やかに

P 2～P 3

P 11～P 18

P 20



YONEZAWA

Webもチェック



米沢市議会

私たちのまちの未来!

全6校にて熱く開催!!



アンケート「米沢の未来について」学校ごとの関心は?

第一中学校

- 第1位 娯楽・交流施設の充実
「中高生が遊び集える施設を!」
- 第2位 歴史・文化の継承と発信
- 第3位 交通インフラ・生活環境改善



第四中学校

- 第1位 まちづくり・イベント・賑わい
- 第2位 医療・健康
- 第3位 歴史・文化の継承と発信
「歴史のアピール、情報発信を!」

第二中学校

- 第1位 娯楽・商業施設の充実
- 第2位 まちづくり・イベントの活性化
「米沢を盛り上げるイベントを!」
- 第3位 交通インフラの整備



第六中学校

- 第1位 まちづくり、娯楽・商業施設
- 第2位 安全・安心な暮らし
「犯罪・事故防止、防災意識の向上」
- 第3位 自然・環境問題

第三中学校

- 第1位 イベント・観光・地域活性化
- 第2位 自然環境・防災・インフラ
「道路が凸凹、街灯を増やして!」
- 第3位 娯楽・商業施設の整備



第七中学校

- 第1位 交通インフラの整備・防災
「道路の修繕を! 災害への備えは?」
- 第2位 地域活性化、産業・観光振興
- 第3位 自然・環境問題

アンケートの結果から、生徒の皆さんが暮らす地域や通う学校によって、関心事の違いを知り、その上で特に関心度の高い項目や、地域ならではの話題を優先して取り上げ、有意義な意見交換ができました。

生徒の皆さんからの感想や意見を一部ご紹介します!

- 「議員の仕事や役割、予算などについて知ることができて良かった」
- 「除雪や道路の問題、害獣のことも知ることができた」
- 「私たちの質問に真摯に的確に答えていただけたことに、信頼と安心を感じました」
- 「もっと米沢の名が広まって、みんなが魅力を見い出せるようなまちづくりをしてほしいです」
- 「規制(規則)が緩和され、生徒の自由がより尊重される、そんな米沢になれば良いと思います」
- 「将来米沢の仕事に就きたいので、ぜひ賃金を上げる行動をお願いしたい」
- 「米沢市民として、私たちにできることを考え行動していきたいと思えた」
- 「私たちが米沢市民の一人なので、自分の意見をもって広い視野で米沢を見ていきたい」
- 「空き家の管理や、街灯の設置についても検討していただけると嬉しい」
- 「議員の方々が、米沢のことを良くしようと考え、しっかり話し合われていることを嬉しく思った」
- 「機会があれば市議会を傍聴に行きたいと思った」
- 「私たちが今よりさらに地域や地元に関わるのが大切だと感じました」
- 「地元の特産品を身近なものから食べてみようと思いました」
- 「地産地消に心がけたい」
- 「税金の使い道を慎重に決めなくてはいけないと感じた」
- 「将来米沢に貢献していきたいと思えた」

皆さんからいただいたご意見は、議会活動に生かしてまいります。
貴重なお時間ありがとうございました。 議会広報広聴委員会



特集

中学生の熱き思い！

令和7年度 第10回中学校出前市議会

特集
中学校出前市議会

1月臨時会・
3月定例会議案等
議案総括

委員会報告（総文）
委員会報告（民生）

委員会報告（産建）
予算特別委員会

予算特別委員会
代表質問

代表質問・一般質問

一般質問・議員研修会
視察報告



「変わる！変えられる！あなたたちの一票で」

投票で、市長や議員を選ぶことは自分の生活に直結する大事なことです。決して、「投票なんてしなくてもいい。誰に投票しても変わらない。」ということではありません。そのことを未来を担っていくことになる若い生徒の皆さんに、実際選挙で選ばれた議員が分かりやすく伝えることで、議会の役割と議員活動を理解していただくことを目的に毎年開催しています。

生徒の皆さんに、
議員と話したいことを
事前にアンケート調査

事前アンケート調査
の結果を議会内で
共有して準備

出前市議会
一部の学校はオンライン

事後アンケート
の感想・意見
を議会内で共有

第一中学校	1月 7日(水)	3 学年	176 名
第二中学校	1月21日(水)	3 学年	159 名
第三中学校	1月14日(水)	3 学年	76 名
第四中学校	1月20日(火)	1 学年	121 名
第六中学校	1月30日(金)	1 学年	44 名
		2 学年	57 名
第七中学校	1月13日(火)	1 学年	61 名



▲学校ごとに4名の市議会議員が参加

令和8年度当初予算 撤回、再提出された修正案を可決！

3月定例会の日程と概要

令和8年3月定例会
2月24日～3月24日
会期29日間



3月12日の予算特別委員会で、議第25号令和8年度米沢市一般会計予算は、東成中学校開校に向けた設計費用が計上されていないなどとして、6会派中4会派が反対し、否決されました。

これを受け、市は、3月19日の本会議にて議第25号を撤回し、東成中学校統合改修設計費用を加えた修正案として、議第41号令和8年度米沢市一般会計予算を追加提出しました。予算案が修正されたことを受け、反対していた4会派のうち3会派が賛成し、同日の予算特別委員会を経て、3月24日の本会議にて修正案が可決されました。

月 日	内 容
2/24(火)	本会議（議案上程）
2/26(木)	本会議（代表質問）
2/27(金)	本会議（代表質問）
3/ 2(月)	本会議（一般質問）
3/ 3(火)	本会議（追加議案上程） 予算特別委員会
3/ 4(水)	総務文教常任委員会
3/ 5(木)	民生常任委員会
3/ 6(金)	産業建設常任委員会
3/ 9(月)	予算特別委員会
3/10(火)	本会議（補正採決） 予算特別委員会
3/11(水)～13(金)	予算特別委員会
3/19(木)	本会議（議案の撤回、追加議案上程） 予算特別委員会 議会運営委員会
3/24(火)	本会議（議案採決）

請 願

詳細はこちらから



採択

- ◆全天候型（砂入り人工芝）の市営テニスコートの早期整備を求める請願
 米沢市テニス協会 会長 田中 敦
 米沢市ソフトテニス連盟 会長 下平 俊之

意見書・決議

詳細はこちらから



可決

- ◆自衛隊員の処遇改善及び退職自衛官の再就職促進に関する意見書の提出について（発議第2号）
 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、防衛大臣 あて
- ◆男系による安定的皇位継承の確保に向けた国会論議促進を求める意見書の提出について（発議第3号）
 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣あて

- ◆米沢市立東成中学校開校延期方針に関する決議（発議第4号）

人事案件

詳細はこちらから



同意

人権擁護委員候補者

[人権擁護委員]

人権擁護委員法に基づき、人権相談を受けたり、人権の考えを広める活動をしています。

小 形 憲 治 氏（任期 令和8年7月1日から3年間）
 佐 藤 美 香 氏（任期 令和8年7月1日から3年間）
 太 田 喜 正 氏（任期 令和8年7月1日から3年間）

1月臨時会で審議された議案

付託先等	議案番号	件名	結果	掲載ページ
その他	報第1号	専決処分事件の報告について	承認	
	承第1号	専決処分事件の承認を求めることについて		
	議第1号	令和7年度米沢市一般会計補正予算(第10号)	可決	

3月定例会で審議された議案

◆については反対のあった議案です

付託先等	議案番号	件名	結果	掲載ページ
総務文教常任委員会	議第2号	米沢市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決	
	議第3号	米沢市行政手続条例の一部改正について	可決	
	議第4号	米沢市基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正について	可決	
	議第5号	米沢市市税条例及び米沢市介護保険条例の一部改正について	可決	
	議第39号	米沢市立第二中学校解体工事請負契約の締結について	可決	6
請願第1号	全天候型(砂入り人工芝)の市営テニスコートの早期整備を求める請願	採択	6	
民生常任委員会	議第6号	米沢市国民健康保険税条例の一部改正について	可決	
	議第7号	米沢市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	7
	議第8号	米沢市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の設定について	可決	7
産業建設常任委員会	議第9号	特定事業(米沢市公営住宅塩井町団地建替等事業(1号棟))事業契約の一部変更について	可決	
	議第10号	特定事業(米沢市公営住宅塩井町団地建替等事業(2号棟))事業契約の一部変更について	可決	
	議第11号	特定事業(米沢市公営住宅塩井町団地建替等事業(3号棟))事業契約の一部変更について	可決	
	議第12号	米沢市特別会計条例の一部改正について	可決	8
	議第13号	米沢市青果物地方卸売市場条例の一部改正について	可決	
	議第14号	米沢市市営住宅条例の一部改正について	可決	8
	議第15号	米沢市家屋等の安全管理に関する条例の一部改正について	可決	
	議第16号	米沢市水道給水条例等の一部改正について	可決	
予算特別委員会	議第17号	令和7年度米沢市一般会計補正予算(第12号)	可決	
	議第18号	令和7年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第4号)	可決	
	議第19号	令和7年度米沢市後期高齢者医療費特別会計補正予算(第3号)	可決	
	議第20号	令和7年度米沢市介護保険事業勘定特別会計補正予算(第4号)	可決	
	議第21号	令和7年度米沢市青果物地方卸売市場費特別会計補正予算(第1号)	可決	
	議第22号	令和7年度米沢市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	
	議第23号	令和7年度米沢市下水道事業会計補正予算(第3号)	可決	
	議第24号	令和7年度米沢市立病院事業会計補正予算(第1号)	可決	
	議第25号	令和8年度米沢市一般会計予算【●右記の結果欄は予算特別委員会での採決内容となります】⇒	否決◆	9、10
	議第26号	令和8年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計予算	可決	
	議第27号	令和8年度米沢市後期高齢者医療費特別会計予算	可決◆	10
	議第28号	令和8年度米沢市介護保険事業勘定特別会計予算	可決	
	議第29号	令和8年度米沢市と畜場及び食肉市場費特別会計予算	可決	
	議第30号	令和8年度米沢市新産業団地整備費特別会計予算	可決	10
	議第31号	令和8年度米沢市青果物地方卸売市場費特別会計予算	可決	
	議第32号	令和8年度米沢市物品調達費特別会計予算	可決	
	議第33号	令和8年度米沢市南原財産区費特別会計予算	可決	
	議第34号	令和8年度米沢市三沢東部財産区費特別会計予算	可決	
	議第35号	令和8年度米沢市山上財産区費特別会計予算	可決	
	議第36号	令和8年度米沢市水道事業会計予算	可決	
	議第37号	令和8年度米沢市下水道事業会計予算	可決	
議第38号	令和8年度米沢市立病院事業会計予算	可決	10	
議第40号	令和7年度米沢市一般会計補正予算(第13号)	可決		
議第41号	令和8年度米沢市一般会計予算	可決◆	10	
その他	承第2号	専決処分事件の承認を求めることについて	承認	
	諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	
	発議第1号	米沢市議会委員会条例の一部改正について	可決	
	発議第2号	自衛隊員の処遇改善及び退職自衛官の再就職促進に関する意見書の提出について	可決◆	
発議第3号	男系による安定的皇位継承の確保に向けた国会論議促進を求める意見書の提出について	可決◆		
発議第4号	米沢市立東成中学校開校延期方針に関する決議	可決◆		

議案の賛否一覧表

◆ 3月定例会において反対のあった議案についてのみ掲載しています

議案番号	採決結果	一新会					至誠会					市民平和クラブ			ミライノトビラ		公明党		日本共産党市議団							
		鳥海隆太	佐野洋平	成沢かずね	たかはしちなつ	関谷幸子	島軒純一	さいとうちえこ	工藤正雄	相田克平	堤郁雄	山村明浩	木村芳幸	島貫宏信	小久保広夫	影澤政夫	太田かつのり	我妻徳雄	植松美穂	古山ゆうき	遠藤隆一	佐藤ひろし	山田富佐子	高橋英夫	高橋ひさし	
議第27号	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第25号●	否決	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
議第41号	可決	×	×	×	×	×	-	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第2号	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第3号	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第4号	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※島軒純一議長は採決に加わりません。

(○=賛成 ×=反対)

●予算特別委員会での採決結果です。島軒純一議長、古山悠生副議長及び木村芳浩委員長は採決に加わりません。



米沢市立第二中学校解体工事請負契約の締結について

米沢市立南成中学校のグラウンドを整備するため、米沢市立第二中学校の校舎等の解体工事を行おうとするものです。

再入札の理由

問 このたびの契約に当たり、入札を一度仕切り直し解体工事の工期を15日早めた内容で再度入札を行ったとのことだが、その理由は何か。

答 もともとのスケジュールでは、解体工事が令和9年度当初まで、その後のグラウンド整備が令和9年12月中旬までかかる見込みでしたが、降雪の影響が生じる可能性があり、11月いっぱいまでにグラウンド整備に係る主な工事を終わらせる必要があると考えたことから、解体工事の工期を見直しました。

物価高騰の影響

問 今回の契約金額は物価高騰や機材費の値上がりの影響をどの程度織り込んだ内容になっているのか。

答 積算に当たっては、経済調査会で示されている最新の単価を用いたほか、可能な範囲で直近の見積りを徴取し、単価を採用しました。

全天候型（砂入り人工芝）の市営テニスコートの早期整備を求める請願

米沢市が管理している北村公園テニスコートと八幡原緑地テニスコートは、いずれも老朽化が著しく通常の使用にも支障を来している状況にあります。また、米沢市にはクレーコートが整備されているものの、クレーコートは天候に大きく左右されるほか、1か所で8面以上のコートを有する施設がないため、ソフトテニス競技においては、中学校や高校の県大会以上の大会、社会人の主要な大会が県内4地域の中で唯一開催できない状況にあります。このことから、全天候型（砂入り人工芝）の市営テニスコートの早期整備を求めるものです。

雨天時の地区大会の状況

問 地区大会開催の際、雨天時はどのように対応しているか、参考人に伺う。

答 東置賜地区と西置賜地区では砂入り人工芝コートで開催されるため、よほどの大雨が降らない限り試合は続行できますが、米沢地区では、北村公園テニスコートのクレーコートの水はけが非常に悪く、一旦雨が降ると1週間ほど使用できなくなります。大会の4、5日前に雨が降った場合、使用できるかどうかの判断が難しく、使用できるようであってもローラーで1時間半ほどかけて土を固める作業が必要になります。使用できない場合は米沢市営多目的屋内運動場での開催となりますが、コートが3面しかないため通常7ゲームマッチで行われるところを5ゲームマッチに短縮しており、努力してきた生徒たちにとって非常に気の毒な結果となることも多々あります。



▲北村公園テニスコート



米沢市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

こども誰でも通園制度の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の改正を行おうとするものです。

条例改正による事業内容の変更

問 条文中「乳児等通園支援事業者」を「乳児等通園支援事業所」に、虐待等の「防止」を「禁止」に改正することにより、事業の内容に実質的な変更はあるか。

答 国の基準どおりに改正するものであり、事業の内容は変わりません。



米沢市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の設定について

子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、こども誰でも通園制度の運営に関する基準を定めようとするものです。

民間保育所等での実施に向けて

問 この事業は市立保育園のみで導入することだが、民間の保育所等での実施について今後のロードマップ等は検討しているか。

答 民間の保育所等を対象に、緑ヶ丘保育園で実施した状況の説明会などを行い、事業を実施する意向がある保育所等には、実施に向けて寄り添った対応をしたいと考えています。

利用料の設定

問 利用料は条例で設定せずに実施事業者が決めるのか。

答 国から、令和8年度の利用料は1時間300円程度を標準として実施事業者が設定できるとの通知がありました。緑ヶ丘保育園での利用料は、条例ではなく要綱等を策定し設定したいと考えています。

特集
中学校出前市議会

1月臨時会・
3月定例会議案等
議案総括

委員会報告(総文)
委員会報告(民生)

委員会報告(産建)
予算特別委員会

予算特別委員会
代表質問

代表質問・一般質問

一般質問・議員研修会
視察報告



米沢市特別会計条例の一部改正について

一般会計と米沢市新産業団地整備事業に係る会計を区分することに伴い、米沢市新産業団地整備費特別会計を設置しようとするものです。

特別会計設置のメリットは

問 この特別会計を設置するに至った理由と設置するメリットは何か。

答 特別会計は一般会計に比べ、事業の進捗に伴う年度ごとの支出状況や分譲時の受け払いに伴う収入状況など、事業に係る歳入歳出が明確となり、経理の透明性が図れるというメリットがあるため、設置を提案することとなったものです。

立替事業費の返済は

問 産業団地の整備に当たり、山形県すまい・まちづくり公社の立替施行制度を活用するということだが、立替事業費の返済はどのようなになるのか。

答 この立替施行制度は、公社が本市に代わり工事の発注、引渡し、資金の確保、支払いの事務までを一貫して行うもので、土地の取得及び造成工事の費用については、それぞれ終わった翌年から最長20年間で均等に分割払いすることが可能です。

米沢市市営住宅条例の一部改正について

市営住宅の入居者の資格要件を見直すとともに、通町住宅を廃止するほか、規定の整備を図ろうとするものです。

入居者の新たなニーズの状況は

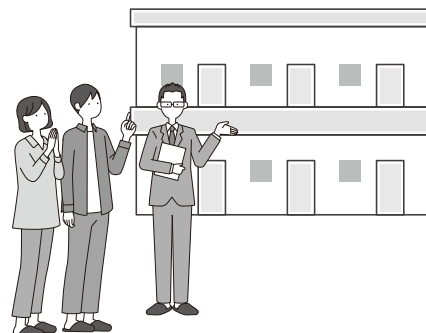
問 入居者の資格要件について、住宅困窮度の高い若者単身者など、新たなニーズが出てきたということだが、本市の状況はどうか。

答 本市の状況は把握していないが、国の労働力調査によると、非正規の職員・従業員の割合は、令和5年が37%、令和7年が36.5%と減少している一方、15歳から24歳では、令和5年が50.5%、令和7年が52.3%と増加している。また、国の賃金構造基本統計調査によると、正社員・正職員の賃金を100とした場合の非正規雇用者の比率は20歳から24歳で令和4年が88.8、令和6年が83.2と格差が広がっている状況にあります。

若者単身者のニーズは増えるか

問 入居者の資格要件が緩和されることで、若者単身者の入居のニーズが増えると思込んでいるのか。

答 窓口には単身者の入居についての問合せは来ており、従来の60歳以上の方や障がい者の方に加えて、若者を含む単身の方のニーズに応じていくための条例改正となっています。



予算特別委員会

予算特別委員会を7日間にわたり開催し、令和7年度補正予算9件、令和8年度当初予算14件（一般会計1件、特別会計10件、企業会計3件）の計23件を審査しました。

このうち議第25号令和8年度一般会計予算は、東成中学校の開校に係る市当局の対応等を理由に否決されました。東成中学校の開校時期は、令和6年3月定例会において「令和11年度」と議決されています。これに対し市当局は、条例改正の手続を執ることなく、財政上の理由で開校時期を延期する方針を示し、住民説明会を計画するなど、条例に基づく行政執行の原則を十分に守らず、また、議会に対しても説明がないとの指摘が委員からありました。

さらに、本来計上すべき令和11年度に開校予定の東成中学校の設計費等関連予算が当初予算に計上されていないとの指摘が委員からあり、議第25号は否決されました。

これを受け、市当局は議第25号を撤回し、委員会での指摘事項を踏まえ、一部修正を加え議第41号として再提出しました。再提出された議第41号は、修正された予算案の審査を経て、賛成多数で可決されました。

令和8年度米沢市

一般会計予算（議第25号）

【乗合タクシー運行事業費】

問 乗合タクシーは、登録している地区の人がまちなかへ行くことに利用できるが、地区間相互の利用はできない状況になっている。利便性について検討はしているのか。

答 現状としては、周辺地域からまちなかに行くという移動手段として活用いただいている状況であり、現行ルールの下で乗合タクシーを市内全域に広げた後に検討していかなければならぬと考えています。



▲乗合タクシー



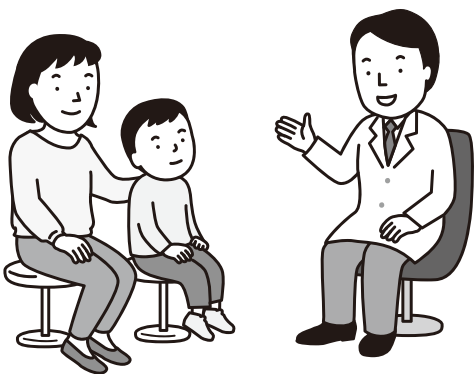
3月9日
午後

【乳幼児健康診査事業費】

『5歳児健康診査について』

問 5歳児健康診査の効果をどう考えているのか。また、健診後に発達障がい等があるという結果になった場合、その支援体制はどうなっているのか。

答 5歳という時点で健診を行うことにより、早い段階で発達障がい等の児童の支援につなげることができるものと考えています。しかし、健診は診断の場ではないため、難しい部分もあります。関係機関・関係各課と情報を共有しながら支援体制の整備を図っていく予定です。



3月10日
午前

【有害鳥獣対策事業費】

『熊の予防的捕獲について』

問 熊の出没は、季節を問わず人里へ接近する構造的な問題へと変化してきている。予防的な捕獲や里山のやぶの管理などで常習個体を減らす効果があると思うが、現段階で検討はしているのか。

答 予防的捕獲及び個体数の管理については、県が猟友会各支部に委託して春季に実施する予定となっています。環境整備をして、予防的捕獲を行うというのは二次的な防御という側面があると考えており、そこまで実施できるかはこれからの検討になります。

【建築指導管理事業費】

問 『みらいのすまい応援事業費補助金』について

問 みらいのすまい応援事業費補助金について、移住促進につながるよい事業だと思う。新規事業であることから周知が大事だと考えるが、どのような方法で行っていくのか。

答 既に米沢建築組合連合、山形県建設協会米沢支部、山形県建築サポートセンターにチラシを配布し、3月定例会議決後と注意書きをした上で周知を図っています。



3月11日
午後

特集

中学校出前市議会

1月臨時会・3月定例会議案等
議案総括

議案総括

委員会報告（総文）
委員会報告（民生）

委員会報告（産建）
予算特別委員会

予算特別委員会
代表質問

代表質問・一般質問

一般質問・議員研修会
視察報告



3月12日
午後

【小中学校教育振興事業費】
『GIGAスクール端末更新について』

問 現段階でどのような端末を想定しているのか。これまで配布していた端末を全て新しいものにするのか。また、廃棄する端末について、一部を売却する検討はしているのか。
答 端末については、現在使用している機種と同程度のものを買いたいと考えています。また、既存の端末で状態のよいものは、教職員が指導用として使用する予定です。端末の処分については、リサイクル法に基づいてデータを消去し、有用な資源として売却したいと考えています。



3月19日
午前

採決に当たって（意見）
令和8年度米沢市
一般会計予算（議第41号）

反対意見

議第25号の反対理由として、令和8年度は、財政状況が極めて厳しく、歳入不足、歳出超過が常態化しており、歳入不足の状況を放置している点を指摘したが、議第41号では特段改善策は見られなかった。2年連続で予算目標が未達成のふるさと応援寄附金や、そのほかの財源確保対策についても具体的な内容はなかった。このたびの中学校統合施設整備事業費用については、本来条例上なすべき予算を計上したにすぎず、賛成する理由にはならない。

賛成意見

東成中学校開校に向けた設計費計上に至るまでは、条例改正を経ずに延期の方針が示され、住民説明会が計画されるなど、条例に基づく行政執行の原則が十分に守られてきたとは言えず、行政手続は看過できない問題があった。しかし、設計費を計上し、整備に向けた準備を進めるとい判断は、地域の教育環境を改善し、子どもたちの学びを保障するた

めに不可欠であり、評価するものである。財政運営の透明性を高め、教育行政の独立性を尊重しながら、条例に基づく適正な手続の徹底を強く求める。当初の予定どおり、東成中学校の開校に向けて、着実に取り組むことを願うものである。

令和8年度米沢市
特別会計予算・企業会計予算



3月13日
午前

【新産業団地整備費特別会計】

『新産業団地整備事業について』

問 収支シミュレーションの資料を見ると、令和12年以降、売払収入全てを山形県すまい・まちづくり公社の償還金に充てることになっているが、分譲できない場合は、償還金の財源をどうするのか。
答 また、研究開発企業を中心に誘致するということだが、県外の企業向けにインセンティブをつける制度設計を検討しているのか。

償還金については、財源として基金を活用する予定です。
答 インセンティブについては、現行のオフィス・アルカルドディアでも優遇制度を設けていることから、財政面を考慮しながら検討していきたい

と考えています。

【市立病院事業会計】

『一般会計からの実繰出額等について』

問 一般会計から公営企業会計に対して支出している実繰出金と繰出基準として算定された額には差があるが、実繰出額を決定する根拠は何か。

答 繰出基準に明確な単価や算定方法がないものについては、それぞれの企業会計の担当部署と協議をして決定しています。



3月13日
午後

採決に当たって（意見）
後期高齢者医療費特別会計

反対意見

後期高齢者医療制度では、75歳以上の高齢者全員から保険料が徴収されている。年齢で加入制度を区切る仕組みは国際的にもほとんど例がない。さらに令和8年度から保険料の年間上限額を引き上げる方針を決めた。後期高齢者医療保険制度そのものに反対する。

代表質問と一般質問の熱き議論

代表質問と一般質問について説明します



会派名
氏名

答弁要約

タイトル

QRコード

各議員の顔写真の下に、質問のタイトルとそれに対する答弁の要約を記載しています。また、QRコードから代表質問・一般質問を動画で視聴できます。

Q どうやってするの？
A 一般質問は1人当たり30分間です。代表質問は、会派に所属している人数により質問時間が変わり、6人以上の会派は120分、6人未満の会派は90分を持ち時間としてあります。

Q 代表質問と一般質問の違いは？
A 代表質問は所属する会派の代表者1人が質問します。代表質問は3月定例会のみ行っています。一般質問は各議員が個人で質問するものです。なお、代表質問、一般質問ともに市長や教育長等に対して行い、市政全般に関する事務の執行状況や市政方針についての質問、意見を伝えることができます。



※正副議長及び監査委員は、一般質問を行いません。
※原稿は質問した議員が各自作成しています。

一般質問										代表質問						議員名	質問内容	質問項目	掲載ページ			
高橋 ひさし	さいとう ちえこ	工藤 正雄	影澤 政夫	たかはし ちなつ	鳥海 隆太	我妻 徳雄	関谷 幸子	遠藤 隆一	佐野 洋平	山田 富佐子	高橋 英夫	日本共産党市議員	公明党 佐藤 ひろし	植松 美穂	三ライントピラ					市民平和クラブ 太田 かつり	相田 克平	至誠会
市政に子どもの権利条約をどう生かすか	市長の公人として公的な場での今回の発言の真意は	総合計画に登載の学園都市はどのように形成するのか	市民が安心して移動できる公共交通へ	除雪車運行管理システム導入は有効だったか	独断の水道減圧、成島・徳町・西大通地区へ被害	早急なプラスチックの一括回収を	ジビエで米沢を元気に	トライアングル姉妹都市構想について尋ねる	歳出超過歳入不足の米沢市の状況は？	緊急避妊薬の市販化における市の役割について	「人口減少×財政危機」をどう打開するのか	放課後児童クラブの利用料無償化の見通しは	いかにして未来を創造し、耕し、つないでいくのか	喫緊の課題である人口減少対策をどう進めるか	人口減少下の財政と都市再生	人口減と財政危機へ挑む市長の覚悟を問う	外1件	外4件	外3件	外5件	外4件	外7件
暮らし 福祉 経済 教育 子育て 医療 スポーツ その他	暮らし 福祉 経済 教育 子育て 医療 スポーツ その他	暮らし 福祉 経済 教育 子育て 医療 スポーツ その他	暮らし 福祉 経済 教育 子育て 医療 スポーツ その他	暮らし 福祉 経済 教育 子育て 医療 スポーツ その他	暮らし 福祉 経済 教育 子育て 医療 スポーツ その他	暮らし 福祉 経済 教育 子育て 医療 スポーツ その他	暮らし 福祉 経済 教育 子育て 医療 スポーツ その他	暮らし 福祉 経済 教育 子育て 医療 スポーツ その他	暮らし 福祉 経済 教育 子育て 医療 スポーツ その他	暮らし 福祉 経済 教育 子育て 医療 スポーツ その他	暮らし 福祉 経済 教育 子育て 医療 スポーツ その他	暮らし 福祉 経済 教育 子育て 医療 スポーツ その他	暮らし 福祉 経済 教育 子育て 医療 スポーツ その他	暮らし 福祉 経済 教育 子育て 医療 スポーツ その他	暮らし 福祉 経済 教育 子育て 医療 スポーツ その他	暮らし 福祉 経済 教育 子育て 医療 スポーツ その他	暮らし 福祉 経済 教育 子育て 医療 スポーツ その他	暮らし 福祉 経済 教育 子育て 医療 スポーツ その他	暮らし 福祉 経済 教育 子育て 医療 スポーツ その他	暮らし 福祉 経済 教育 子育て 医療 スポーツ その他	暮らし 福祉 経済 教育 子育て 医療 スポーツ その他	
18	17	17	17	17	16	16	16	16	15	15	15	14	14	13	13	12						

質問項目欄の表示については、以下のとおりです。

暮らし…**暮** まちづくり…**ま** 福祉…**福** 経済…**経** 教育…**教** 子育て…**子** 医療…**医** スポーツ…**ス** その他…**他**

代表質問

一新会 いしんかい

成り なり

沢 さわ

かずね



人口減と財政危機へ挑む市長の覚悟を問う

未来の市民に負担を先送りしないという決意で臨みます。



戦略「持続可能で住みやすい都市づくり」

問 人口減少時代における都市づくりの方向性は。

答 本市も人口減少が急速に進行しており、人口密度の低下、空き家・空き地の増加に伴い、地域経済や公共サービスの維持が困難となる懸念があります。20年、30年後を見据えたコンパクト・プラス・ネットワークの考え方を基盤とした都市づくりにより、持続可能な都市経営を進めたいと考えています。

問 単独で全ての公共施設を整備するのは困難であり、置賜圏全体で不足する機能を補完し合い、スポーツ・文化施設などを整備すべきである。公共施設における広域連携の現状と今後の方向性は。

答 置賜の各自治体との連携については、全くそのとおりだと思います。米沢に限らず、各自治体の財政が厳しい中で施設を共同で運営することも必要になるとの問題意識を共有しているところです。

創造「雪国の知恵を価値に変える産業づくり」

問 米沢ブランドを確立するためには、マーケティングが重要になってくる。ブランド戦略の具体的な方向性は。

答 マーケティングの重要性を認識し、誰にどの価値をどう届けるかを明確にして事業へ反映していく考えです。仙台でのポップアップショップ事業も都市部ニーズの把握とブランド強化の機会として取り組みました。今後は関係者と連携し、マーケティングの視点を取り入れて米沢ブランドの価値向上を進めます。

問 食こそ地域文化の象徴であり、米沢が長い歴史の中で育んできた誇り。他自治体のようにラーメン、そばなどの魅力を体系的に発信する課を設置できないか。

答 他自治体においても観光課等の職員がラーメン課やそば課を名乗り、食のまちづくりをPRする取組を実施しておりますので、それらを参考にしながら、研究します。

継承「文化が価値を生み、伝統が彩るまちづくり」

問 上杉文化エリアは本市の観光面、文化面の「一丁目一番地」であり、単に施設を整備するのではなく、官民一体となったエリアマネジメントが重要。このエリアについて、どのような将来像を描いて、進めていく考えか。

答 このエリアは、極めて重要な場所です。エリアマネジメント計画など、将来構想の策定について、具体的な事業の進捗や地域住民、関係団体の意見を丁寧に向い、前向きに検討を進めます。

財政「次世代へつなぐ財政運営」

問 今後の財政見通しでは、8年連続で実質単年度収支が赤字となる見込みで、昨年度公表したのもより悪化する見通しだが、本市の財政は大丈夫か。

答 人件費の上昇、物価高騰の影響に加えて、各種新規事業を盛り込んだことや金利上昇に伴う長期債利子の増もあり、当面は厳しい状況が続くものと見込んでいます。

対応としては、財源調整基金などを取り崩すことで財源を確保し、後年度負担の平準化を図りつつ、中長期的な健全財政の維持に向けた取組の推進、さらなる歳入の確保や歳出の抑制を図っていきます。

本会議や委員会の臨場感を感じてください！

本会議、委員会ともに受付で住所、氏名などを記載するだけでどなたでも傍聴できます。文字だけでは伝わらない生の声をぜひ、聞いて、感じてください。市民ホール左側のエレベータでM4階までお越しいただき、乗り口の反対側で降りるとすぐに傍聴席です。



また、お越しいただくことができない場合、本市議会のYouTubeチャンネルでライブ中継を行っており、本会議及び各委員会をご覧いただけます。



米沢市議会
Youtubeチャンネル▶

代表質問

至誠会

相田 克平



人口減少下の財政と都市再生

しあわせ循環実現予算で、子育て・産業・住宅施策へ重点配分します。



将来税収を生む投資の視点

問 人口減は、税収減・地域経済縮小・行政サービス維持の困難化に直結する。財源調整基金取崩しの常態化は、施策維持に将来世代の財源を使っている現状だ。税収を生み出す投資的予算編成が必要でないか。

答 「しあわせ循環実現予算」として3つの重点プロジェクトに基づき、子育て支援、産業団地整備、住宅支援など、将来の税収増につながる施策に重点的に配分しました。

問 新産業団地には、何社誘致し、どれだけの法人市民税・固定資産税・個人市民税が見込めるのか。また、研究開発型企業誘致における山形大学工学部との連携実績は。

答 10〜15社の立地を想定し、年間約1億4100万円の税収増を見込んでいます。大学との共同研究をきっかけに進出した企業もあり、今後も連携を強化していきます。

本社機能とバックオフィス誘致

問 本社機能の立地は法人市民税増

収に直結し、管理事務部門であるバックオフィスの誘致は女性の雇用創出にも効果的だ。中心街の空きビルや空きテナントとの親和性も高く、戦略として位置づけてはどうか。

答 企業誘致の際に本社機能の移転も含めて提案しており、災害時でも業務を中断せず継続させる観点から進出した企業もあります。

中心市街地再生と住宅政策

問 中心市街地では、地価下落、空きビル増加、買物環境の悪化が急速に進んでいる。誰がビジョンをつくり、どう活性化を図っていくのか。

答 独立行政法人都市再生機構と連携し、社会実験を行いビジョンをつくり上げます。公共空間等の活用や、空き店舗の利活用の推進等の取組により活性化を図っていきます。

問 「みらいのすまい応援事業補助金」は、必要に応じて制度を拡充するなど柔軟な運用を求めたい。積極的な事業の推進に努めるとともに、利用状況を見ながら必要に応じ柔軟な対応をしていきます。

代表質問

市民平和クラブ

太田 かつのり



喫緊の課題である人口減少対策をどう進めるか

新年度は若者や子育て世代を対象に様々な施策を展開します。



改めて人口減少対策を問う

問 若者・子育て世代を増やす施策は使いやすいものと言えるか。

答 各種事業が使いやすいものになっていくかという視点はあらゆる事業において意識すべきことであり、必要に応じて改善を図っていくことが重要だと考えています。

問 若者や女性の声をどう反映させているか。

答 若者・女性の声を反映させる取組として、高校生や若者のミートイングの実施や、各種審議会等の女性登用率を令和12年までに40%以上60%以下とする目標を設定し、意見を反映させています。また、おためし暮らしから定住までの導線については、移住ポータルサイト米沢住を通じて移住に役立つ情報発信を行い、具体的に移住を希望される方には、移住コーディネーター及び地域おこし協力隊による相談体制を整えています。

問 若者の流出をどう分析し、何を取り組むのか。

改めて人口減少対策を問う

問 総合計画策定時に高校生や大学生を対象に実施したアンケート結果では、第1に高校生の63・6%、大学生の90%が転居したいと回答しており、その最大の理由は仕事・学校・家庭の事情です。第2に、公共交通機関に関して、本数が少ない等の意見が多数寄せられています。第3に、安定した生活基盤の構築に不安を感じている様子がうかがえます。

以上の分析から、大学生対象のインターンシップ、中学・高校生対象の地元企業の仕事体験、女性・若者を選ばれる魅力的な職場づくり、新産業団地の整備等に取り組みます。また、公共交通の利便性向上、奨学金返還支援の上乗せ、学園都市よねざわ卒業・就職・定住祝金等で経済的不安の軽減を図ります。

問 地域の寛容性を向上させることの重要性をどう捉えているか。

答 地域に根強く残っている性別による役割分担意識や賃金格差も含めたジェンダーギャップの解消、女性活躍推進といった取組を進めることが重要だと考えています。

特集

中学校出前市議会

1月臨時会・3月定例会議案等

委員会報告(総文)

委員会報告(産建)

予算特別委員会

代表質問・一般質問

一般質問・議員研修会

視察報告

代表質問

ミライノトビラ

植松美穂



いかにして未来を創造し、耕し、つないでいくのか

今やるべきことを着実に、着眼大局着手小局に
尽きると思っています。



問 中学校部活動のスムーズな地域展開に向けての進捗と準備は。

答 本市では、認定地域クラブを「米沢市スポーツ挑戦文化創造クラブ」、通称「ヨネ愛(らぶ)」と呼んでいます。学校施設の優先的な貸出し、学校部活動の道具の共用、財政支援の3点を柱に支援を行っています。各連盟・協会及びヨネ愛と連携し、保護者や市民の皆様に分かりやすく、安心していただけるような情報発信に努めます。

問 労働力確保に向けて外国人労働者の受入れ体制はどうか。

答 外国人労働者を受け入れている企業を訪問し、ニーズ調査や情報交換などを行い、支援の相談を受け付けているほか、必要な情報や生活に関するルールなどを掲載した多言語対応のリビングガイドの発行、米沢での生活ルールなどに関する出前講座などを行っているところです。

問 コンパクトシティに向け本市立地適正化計画に基づく居住誘導を進めているが、より便利により豊かに暮らせる施策が必要ではないか。

答 居住誘導区域内に住んでいただくためのインセンティブが必要とされています。そこで本市では、令和8年度から居住誘導区域内における新築住宅取得を支援する「みらいのすまい応援事業」を開始する予定としています。この支援は、県内においても最高水準のものとなりますが、最大100万円の補助を行います。

問 本市の魅力発信はまだ課題が多い。シティプロモーションの強化を進めてはどうか。

答 令和8年度は、令和7年度の取組を継続して、デジタルマーケティングを取り入れた公式ウェブサイトやSNS等での情報発信に加え、新たにマスメディアを活用することで、本市の魅力を全国に、とりわけ首都圏に発信し、選ばれる米沢を実現していきます。

問 市長が思う百年先の米沢は。この地から世界的にも日本でも活躍をする人や企業が育つ米沢でありたいと思っています。

代表質問

公明党

佐藤ひろし



放課後児童クラブの利用料無償化の見通しは

令和9年度から段階的に進めて、最終的に無償化とする考えです。



放課後児童クラブの将来像は

問 予算の確保をはじめ、利用児童の増加等の課題に対する方策は。

答 無償化の財源は県の補助金を除き、ほぼ一般財源です。完全に無償化を実施した場合の予算規模は、年間約2億3千万円と見込んでいます。市の財政状況を十分勘案して、段階的に進めていく必要があると認識しています。

問 共働き世帯が多い本市においては、保育を必要とする潜在的ニーズが高いと考えています。無償化により利用率は40%を超えることが予想され、市全体の利用者数は13%増の約1600人と見込まれることから、受入れ枠と支援員の確保が課題と考えています。

答 令和9年度からの段階的な実施に向けて、場合によっては人員を追加で配置するなど準備が必要となります。各クラブにおいて無償化に向けた事務作業等が円滑に進むよう、その準備のための体制整備を支援していきます。

(仮称) 複合施設こども園整備事業は

問 複合施設の具体的な姿は。

答 この事業では、緑ヶ丘保育園と吾妻保育園の公立保育園2園を統合して認定こども園とし、同一の建物内にひまわり学園を併設して、保育機能と療育機能の複合施設として整備する予定です。

乗合・まちなか定額タクシー事業の継続性は

問 恒久的な事業としての財源確保はどうか。

答 本事業を維持するには多額の費用を要する一方、公共交通として料金を低廉に抑えているため、運行に当たっては多額の行政負担が必要となります。

答 また、本事業には、事業費から収入を差し引いた額に対し、8割の特例交付税の措置があります。これらの財源を確保・活用しながら、今後の運行を継続的に維持していく予定です。

代表質問

日本共産党市議会

高橋 英夫



「人口減少×財政危機」をどう打開するのか

「子育て・教育」は好循環の米沢において最重要の分野と考えています。



人口減少対策の「選択と集中」をどう行うのか

問 財政余力が乏しい中で、人口減少対策のどこに資源を集中するのか、優先順位を示してほしい。

答 米沢市まちづくり総合計画では、将来像として「しあわせ 循環 学園都市・よねざわ」を掲げ、人口減少を緩やかに抑制し、市民の幸福度を高めることを目標としています。目標達成に向けて、前期5年間で特に重要性が高く、先行的、優先的な投資が必要な取組を「ひと・なりわい・くらし」の3つの重点プロジェクトとしてまとめています。

特に、「子育て・教育」は好循環の米沢において最重要の分野と考えています。「子育て・教育」環境の充実、市民の幸福度を向上させ、人材を育て、人材を生かして地域の競争力を促進する好循環を形成し、市外や県外の高校・大学を選択していた学生が市内へ回帰・定着する流れを生むものと期待されます。その結果として、雇用への波及効果によ

る所得の増加や、消費・投資を通じた経済効果が見込まれ、ここで育った子どもを支える次世代の子育て世代が形成され、かつ高齢者の方々の生活も支え、人口減少の抑制につながる好循環が生まれるものと考えています。

地域で支え合う「共助の除雪」体制の構築を

問 小型除雪機を所有されている方々を(仮称)除雪サポーターとして登録し、高齢者世帯などからの依頼に応じて除雪を行う「有償ボランティア制度」を創設してはどうか。

答 現在、市で実施している地域の支え合いによる除排雪事業ですが、令和7年度には18団体まで共助の輪が広がっています。本事業が町内会や隣組などの団体を対象としているのに対し、ご提案の有償ボランティア制度は個人を対象としており、それ以外の部分では類似点が多く、ご提案の内容を含め引き続き有効な手段について調査・研究を行っていきたいと考えています。

一般質問

公明党

山田 富佐子



緊急避妊薬の市販化における市の役割について

相談窓口の体制整備を図ります。



問

本年2月から販売された緊急避妊薬は、適切な避妊ができなかった場合や、性暴力被害など望まない妊娠のリスクから女性を守る重要な薬である。性交後72時間以内に服用することで約8割の確率で妊娠を防ぐとされている。女性が相談しやすい環境づくりや、緊急避妊薬を含めた正しい知識を普及させる性教育の充実についてどう考えているか。

答 販売薬局で、本市のワンストップ

プ支援センター相談窓口や医療機関等の紹介などの情報を加えていただくよう薬剤師会と相談し、検討します。また、ホームページには、望まない妊娠に関する特定の項目は掲載されていません。今後掲載したいと考えています。さらに、「命の尊さを学ぶ講座」等、性教育の継続と充実を図るよう検討し、正しい知識を得るための環境づくりも進めていきます。

一般質問

一新会

佐野 洋平



歳出超過歳入不足の米沢市の状況は？

歳入の確保は命題です。しかし、目標数値を示すのは困難です。



問 市の財政状況は。

答 直近の令和6年度決算では、実質単年度収支は7・1億円の大幅なマイナスです。財源調整基金残高は、積立てより取崩しが多くなり、対前年度比4・7億円減の約46億円、経常収支比率は97・0%、実質公債費比率は9・5%です。今後数年間

令和7年度の寄附想定額は、17億円台後半から18億円前後となる見通しです。当初予算に計上した20億円達成も困難な状況です。

問 ふるさと納税2年連続予算未達成の市長の責任は。

答 最終的な責任は、執行者たる私に帰します。それはふるさと納税に限らず、責任の所在は私にあり、法令上もそういう形ではないかと思っています。

特集
中学校出前市議会

1月臨時会・3月定例会議案等
議案総括

委員会報告(総文)

委員会報告(産建)

予算特別委員会
代表質問

代表質問・一般質問

一般質問・議員研修会
視察報告



一般質問

三ツ井ノトビラ

遠藤隆一

トリアングル姉妹都市構想について尋ねる

歴史的なつながりを基に、交流都市として交流を深めていきます。



朝倉市、高鍋町とのトリアングル姉妹都市提携の有効性をどう捉えているのか。

共通点の多い藩政改革を行った秋月三名君などをはじめとする秋月藩、米沢藩、高鍋藩の歴史的な関わりを大切に、2市1町のそれぞれの歴史資源をベースとした交流により地域振興を図っていくということは、現代のまちづくりについて、また、本市の市政発展についても一定の有効性があるものと感じています。

将来への布石として、また、将来に花を咲かせる種をまくためにも、今こそ朝倉市との姉妹都市協定を結ぶ必要があるのではないのか。

将来の姉妹都市ということは当然にらみながらですが、本市の状況、これまでの経過を踏まえて、歴史的なつながりを基に、交流都市としてまずは交流を深めていきたいと思っています。



一般質問

三ツ井ノトビラ

関谷幸子

ジビエで米沢を元気に

地域資源の創出につながるジビエ活用の検討を積極的に進めます。



三沢地区では、地域づくりの観点で農村型地域運営組織（農村RMO）の立ち上げを目指し、地域全体で取り組んでいる。ジビエはその一環として、地域産業の基盤にならないかと考える。地域と連帯して進めていく考えはあるか。

昨年、本市担当課と農村RMOの設立を検討している地域の有志の方々と、ジビエを活用した事業化の可能性について意見交換を

実施しました。この際、事業化に向けた計画案や食品衛生法上の課題等について情報共有を行いました。本市としては、地域主導で小規模かつ持続可能な運営形態により小さく始めるのが理想的と考えています。今後より具体的な事業化に向けた計画案などを伺いながら、地域と共に先進事例を研究し、新たな地域資源の創出につながるジビエの活用の検討を積極的に進めていきます。



一般質問

市民平和クラブ

我妻徳雄

早急なプラスチックの一括回収を

千代田クリーンセンター焼却施設の大規模改修時期に合わせて実施します。



プラスチックは便利な一方で、大量生産と廃棄が環境問題を深刻にしている。令和4年の法改正により、全てのプラスチック製品の回収が自治体に求められている。しかし、米沢市のごみ処理基本計画では、製品プラスチック等の一括回収が、令和16年とされている。なぜこれほどの時間を要するのか。

千代田クリーンセンターの設備は、容器包装プラスチックと

ペットボトルを前提とした選別ラインとなつていきます。製品プラスチックを含めた一括回収を行うには、コンベアなどの設備改修・増設が必要となります。整備には国の「循環型社会形成推進交付金」の活用が前提となることから、千代田クリーンセンター焼却施設の大規模改修時期との調整が不可欠です。こうした理由により、令和16年度までの実施を目指して検討を進めています。



一般質問

三ツ井ノトビラ

鳥海隆太

独断の水道減圧、成島・徳町・西大通地区へ被害

点検費用については個別補償を検討します。



上水道の水圧を行政の独断で大幅に下げた結果、住民が自宅給水設備の故障と誤認し、有償点検を行う被害が生じた。周知不足を認め補償しないのは行政責任の放棄ではないか。水圧を下げて生活に支障がないと判断したエビデンスはあるか。法律上の基準値と行政としての生活水準維持の責任を混同していないか。原状回復はいつになるのか。

事前説明の内容に不足があった

ことを十分反省し、今後の情報発信に注意していきます。有償点検を実施した方への補償は、個別に対応させていただきます。配水経路の切替え前の水圧検査で、各家庭の給水装置への過剰な負担などが懸念されたため、水圧測定や管網解析の確認を重ね、最小限の変更で水圧調整を実施しました。減圧弁の設置後に配水経路を戻し、水圧を再度調整し原状回復を図ります。



一般質問

一新会

たかはしちなつ

除雪車運行管理システム導入は有効だったか

初年度は不具合が多く事務や現場の負担が増加し、効果は限定的でした。



問 除雪事業者の負担や運用上の課題への対応は。

答 事業者ヒアリングを踏まえ、GPSと路線のひもづけを改善・調整し、作業日報修正に係る事務負担が軽減されました。また、回送時間の扱いや安全確保など、現場の課題への対応を進めています。

帯と単価に不整合があったためです。来年度に向け、システムの時間帯の設定を見直し改善します。

問 私道除雪における今年度の対応は。

答 時間精算への移行により町内負担が増加する団体もあるため、昨年度から、負担軽減を図る観点から距離精算を維持し、段階的に負担額を少しずつ上げていく対応を実施しています。

問 2年連続で排雪作業システムが使えなかった理由は。

答 時間精算への移行により町内負担が増加する団体もあるため、昨年度から、負担軽減を図る観点から距離精算を維持し、段階的に負担額を少しずつ上げていく対応を実施しています。



一般質問

市民平和クラブ

影澤政夫

市民が安心して移動できる公共交通へ

制度の違いを踏まえ、当面は現行運行を維持する方針です。



問 (仮称)「乗継ポイント」を整備し、まちなか定額タクシーと乗合タクシーの相互乗り入れなど柔軟な連携を進めることで、まちなかの回遊性向上や商店街の活性化にもつながるのではないかと。

答 乗合タクシーとまちなか定額タクシーは、各地区にお住まいの方に限定した移動手段として、エリアを区切って運行しており、現状では、相互利用はできません。

問 小中学生の習い事の送迎などを公共交通の市民アンケートに盛り込んでいただきたいがどうか。

答 子どもたちの公共交通の利用については、将来、その潜在的なユーザーとして大変重要だと考えています。アンケートの中でどう聞くかは、またこれからも検討していきたいと思いますが、公共交通の利用促進に向けて、非常に重要な層だと考えています。



一般質問

一新会

工藤正雄

総合計画に登載の学園都市はどのように形成するのか

学園都市の優位性を共有し、大学生の定住促進につなげます。



問 米沢市まちづくり総合計画の学園都市施策の実施状況と成果は。

答 山形大学工学部の機能充実や施設整備と山形県公立大学法人の学寮改善を国や県に要望しているほか、両大学の広報支援等を行っています。また、市民カレッジや公開講座への支援等を行っています。

危険が高い樹木を伐採する予定です。米沢信用金庫様に大学北側の杉林を伐採していただき、ご寄附による桜15本の植栽をする予定です。

問 大学周辺や松川公園の環境整備の取組はどうか。

答 照明灯1基を設置し、倒木の危

険性を高い樹木を伐採する予定です。米沢信用金庫様に大学北側の杉林を伐採していただき、ご寄附による桜15本の植栽をする予定です。



一般質問

一新会

さいとうちえこ

市長の公人としての公的な場での今回の発言の真意は

今回の解散は非常識で、甚だ迷惑な解散であると考えての発言です。



問 1月26日の定例記者会見で記者の方から、今回の衆議院議員選挙の意義や選挙の大変さについての考えを問われたのに対し、市長は、「この時期やるのは、非常識・迷惑千万」を繰り返して発言されたことは看過できないと、私は考える。衆議院議員総選挙は言うまでもなく、日本の民主主義において非常に重要な役割を果たしており、国民の皆様の意見を政治に反映させるための重要

なプロセスである。主権者としての意見を政治に反映させることのできる最大かつ基本的な機会である。この重要な衆議院議員総選挙に対する市長の認識、この発言の真意を問う。

答 今回の解散は常識にあらず、また、雪国東北の立場から見れば、大変甚だ迷惑な解散であるということを申し上げた次第です。

特集
中学校出前市議会
1月臨時会・3月定例会議案等
議決
委員会報告(総文)
委員会報告(民生)
委員会報告(産建)
予算特別委員会
代表質問
代表質問・一般質問
一般質問・議員研修会
視察報告



一般質問

日本共産党市議員

高橋 ひろし

市政に子どもの権利条約をどう生かすか

計画策定の際にはアンケートなどで子ども、若者の意見を聞いています。



問 子どもの権利条約第12条、ごどもも基本法では第11条の意見表明権が生かされる機会と取組が、市の施策と教育行政、学校運営に設けられているのか。

答 新総合計画策定の際には、高校生や大学生の意見を伺い、計画に反映するなどの取組も行ったところです。また、小中学校では児童会活動や生徒会活動で、児童・生徒は自分たちの学校生活をよりよくする

ためにはどうすればよいかということについて、多様な意見を出し合いながら活動を進めています。

問 学校給食共同調理場に導入される地場産農産物の有機認証はどのようにするのか。

答 有機JAS認証を含めながら、米沢地域有機農業推進協議会が認めた有機栽培を準用した農産物を導入する方向で考えているところです。

ハラスメント防止研修会を実施

「ハラスメント根絶に向けた

議員の意識改革」

講師 (株)キャリア支援
公務員研修センター
代表 高嶋直人氏

3月17日に議員を対象としたハラスメント防止のための研修会を開催しました。様々な種類のハラスメントがあることや、アンコンシャスバイアス、無意識の偏見と



▲ハラスメント防止研修会の様子

気づきなども教えていただきました。質疑応答でもたくさん質問があげられ、充実した研修となりました。

議会広報広聴委員会視察報告

令和8年1月26日～27日

長野県伊那市・視察テーマ「市民サポーター制度について」
埼玉県北本市・視察テーマ「議会モニター制度について」

伊那市では、市民の意見を政策立案に生かすため、令和6年度から市民サポーター制度を導入しました。市民サポーターは、常任委員会が提言を行うための調査・研究を実施する際に、議員との意見交換を行います。当該制度を導入したことにより、市民の声を政策

につなげるルートを確立できたことでした。

北本市では、市議会の運営に対する市民からの要望・提言等を広く聴取する仕組みとして、令和3年度から議会モニター制度を導入しました。制度導入により、市民の声を聴く機会の創出や、議会運営・議会活動の周知といった効果があるとのことでした。



▲伊那市視察の様子



▲北本市視察の様子

議会運営委員会視察報告

令和8年1月15日～16日

岩手県一関市・山形県酒田市

視察テーマ「政策提言に関する

取組について」

一関市や酒田市では、常任委員会ごとに調査研究し、市長に政策提言を行っており、政策提言を議会で議決することで、その重みづけを図っています。また、提言内容が市の施策に反映されているかを確認するため、一関市では、常

任委員会での追跡調査や代表質問を行っており、酒田市では、提言した施策に対する予算措置や取組状況を調査しています。

本市議会でも政策提言を行っていますが、議決による重みづけや市の施策への反映状況の調査は行っていないですね。先進事例を参考に、政策提言が市の施策に反映されるような実効性のある取組を進めていきます。



▲酒田市視察の様子

令和8年6月 定例会日程(予定)のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
	1 本会議 (招集日)	2	3 本会議 (一般質問)	4 本会議 (一般質問)	5 本会議 (一般質問)	6
7	8 本会議 (一般質問)	9 総務文教 常任委員会	10 民生 常任委員会	11 産業建設 常任委員会	12 予算特別 委員会	13
14	15	16 議会運営 委員会	17	18 本会議 (最終日)	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

※請願の提出期限は、5月25日(月)午後5時の予定です。

※日程は変更されることがありますので、傍聴の際は議会事務局までお問い合わせください。

TEL (22) 5111 (内線5303・5304)

閉会中の主な議会活動(予定)

(令和8年5月分)

18日(月) 総務文教常任委員会協議会

19日(火) 民生常任委員会協議会

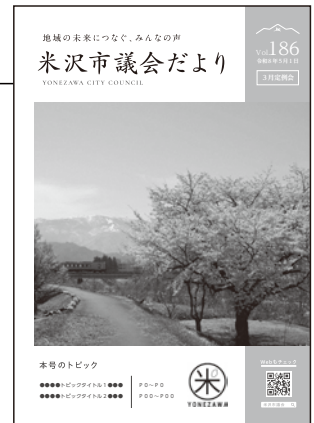
20日(水) 産業建設常任委員会協議会

22日(金) 市政協議会

25日(月) 6月定例会招集告示

今月の表紙

市内在住の男性からご応募いただきました松川堤防付近の写真を掲載しています。ご応募くださった皆様、ありがとうございました。



2月5日

建設中の南成中学校と完成した給食センターを見学しました

建設中の米沢市立南成中学校は、市有林(田沢地区)から間伐した木材をふんだんに使い、ぬくもりのある造りとなっています。



米沢市学校給食センターには、食物アレルギー対応専用の調理室が整備されています。また、最新の「連続炊飯器」により、米沢産の米を炊きたての状態でご各学校へ届けます。





きもの議会で 艶やかに

本市のものづくり産業の原点ともいえる米沢織業界の振興と活性化を願い、本会議出席者が『きもの』を着用する『きもの議会』は、昭和54年2月の臨時会から毎年3月定例会初日に開催し、今回で48回目となりました。

早朝から米沢織維協議会のご協力で着付けをしていただき、きもの姿の出席者が揃うと、議場はみやびやかな雰囲気になりました。

ものづくりを中心とした本市のあらゆる産業の成長を願いつつ、今後も米沢織のさらなる振興に寄与していきたいと思えます。



あしがき

今年の4月から向こう10年間における本市の最上位計画である、「まちづくり総合計画」が新たにスタート。また、南成中学校と北成中学校が開校し、米沢市学校給食センターが開業、広幡と塩井のコミュニティセンターも開館するなど、令和8年は節目の年度になりました。昨年度から初めて議会だよりの編集委員を務めておりますが、定例会ごとの情報を市民の皆様にしつかりお届けできるよう、引き続き努めてまいります。今月号は代表質問と一般質問、新年度予算や各常任委員会の審査結果など、充実した誌面構成になっておりますので是非ご一読ください。

【委員 島貫 宏幸】

- 議会だよりの編集委員会
- 委員長 佐藤 弘司
- 副委員長 高橋 英夫
- 委員 佐野 洋平
- 島貫 宏幸
- 影澤 政夫
- 植松 美穂



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

●発行／米沢市議会 ●編集／米沢市議会だよりの編集委員会
●問い合わせ 米沢市金池5-2-25 TEL22-51114
●部数30,000 印刷／株式会社クラサキ印刷